令和2年7月定例

中標津町教育委員会議事録

※非公開に係る議案を除く

令和2年7月定例中標津町教育委員会

1 日 時 令和2年7月14日(火) 13時30分～14時15分

2 場 所 中標津町役場3・4号委員会室

3 出席者

教 育 長	山 田 康 司
委 員	義 盛 幸 規
委 員	南 むつ子
委 員	青 山 幸 子
教育部長	木 村 実
教育指導監	粥 川 敏 宏
管理課長	舟 橋 利 明
学校教育課長	吉 田 憲 史
指導室長	柴 田 達 也
生涯学習課長	山 宮 克 彦
学校給食センター長	吉 田 利 彦
農業高校事務長	吉 川 裕 二

4 欠席者

委 員	助 口 明
総務係長	表 健 一

5 傍聴者 なし

6 議 題

議案第27号 令和2年度教育委員会所管一般会計補正予算について

【開 会】

○山田教育長

ただいまから7月の定例教育委員会を開催いたします。

助口委員が所用のため欠席ですが、過半数の委員の出席がありますので、会議は成立します。

本日の署名委員は、義盛委員と南委員です。よろしくお願いいたします。

本日の議案は、議案第27号令和2年度教育委員会所管一般会計補正予算についてとなっております。本議案は、町長への意見の申し出に関する事項です。

中標津町教育委員会会議規則第10条第1項第5号の規定により、公開しないことにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から「結構です」の発言あり)

○山田教育長

それでは議案第27号は公開しないこととします。

それでは早速議事に入ります。

【議 事】

◎議案第 27 号 令和 2 年度教育委員会所管一般会計補正予算について

非公開

○山田教育長

以上で議事は終了しますが、事務局から情報提供等お願いします。

○教育部長

はい。それでは4枚綴りの新型コロナウイルスへの対応について、5月22日報告以降の資料を見ていただきたいと思います。

まず1番の学校再開、5月25日付けで発表で緊急事態宣言が5月26日から全て解除ということで発表がございまして6月1日より学校を再開してございます。学校において感染者等が発生した場合の対応としまして以下の白丸3点について特に共通認識として各学校へ通知をしている内容でございます。

最初の白丸でございますが、学校で感染者が発生した場合の臨時休業について、こちらにつきましては学校の全部または学級単位、学年単位を臨時休業とする判断の際には、学校自らの判断で行動はせず教育委員会への連絡後、必ず支持を得てから決定すること、ということで各学校との共通認識、連携の重要性を改めて学校全体と確認をしております。

また、発生した場合の対応としまして学校全体の消毒作業も行わなければならないという話し合いをしております。

次の白丸でございます。児童生徒等や教職員の感染者が発生した場合の対応としまして4点確認をしております。学校への連絡は通常、本人、保護者から感染が判明した旨の連絡をする。2点目は児童生徒等の感染が判明した場合、医師の判断において治癒するまで出席停止とする。3点目は児童生徒等が濃厚接触者に特定された場合、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算して2週間の出席停止とする。4点目は児童生徒等と同居する家族が濃厚接触者となった場合、当該濃厚接触者の健康観察が終了するまで出席停止とするということで対応にずれが無いように確認をしております。

最後の白丸でございます。学校内で体調不良者が発生した場合。1点目は学校内で発熱等の症状が発生した場合、当該児童を安全に帰宅させ、症状が無くなるまでは自宅休養をする指導をする。休養期間は出席停止で扱う。米印で解熱後または症状が無くなったあと、1日様子を見て症状の改善が確認されるまで休養するというので、朝熱が下がったらすぐ学校に行くのではなくて、もう1日様子を見てというような対応していただくよう学校との連携を図っております。

2点目は、学校から安全に帰宅できるまでの間、学校にとどまる場合、他の者との接触を避け、別室で待機させるなどの配慮をするということで、こういった細かいところの連携を図っているところでございます。

2点目、長期休業期間の変更について、夏休み、冬休みでございますけれども、子ども達の学習の遅れを取り戻すため、各学校においては行事の中止・延期・簡略化、さらには授業における指導の重点化を図っているところですが、これらの取り組みだけでは授業時数の回復は難しい状況にあるため、夏休み冬休みを、授業時数を確保することということで次のページのとおり短くさせていただいております。5月のときに報告をさせていただいた予定の休みだったんですが、校長会と連携を図りながら決定事項を今回記載をさせていただいております。

幼稚園、小中学校、義務教育学校においては、夏休みは8月7日から18日までの12日間、通常、ちょっと差はありますけれども26日間のところを12日間にしております。冬季休業は12月26日から1月11日の17日間、通常は21日ということで夏冬合わせて47日間のところを29日間、18日間短縮をさせていただいております。18日間を授業に充て、また行事等も実施を控える等をして今のところ18日間の授業時数を確保して全体で198日間を確保してございます。通常は205日前後と聞いてございます。ですのでだいたい198日間の時数を確保して、現段階ではこれでいけるのかなというふうに考えております。

5月にお話しさせていただいたときには2月から休業が始まりまして4月5日まで、そして6日から始業式が始まったんですが2週間しか学校に行けないという状況で、4月20日から5月いっぱい、だいたい4、5月は休みということで2か月間の間で26日間、学校休業ということで、この26日間のうち、夏冬18日間をカバーして何とかやっついこうかということで学校の中の管理の調整を図っております。

農業高校につきましては、夏につきましては8月8日から18日までの11日間。20日間のところを11日間に変更を考えてございます。冬は逆に24日間あるのですが、今後どういうふうにしていくかというところを検討しているところでございます。

3点目、2学期以降に延期していく行事ということでございますが、先程もお話がありましたように運動会、体育祭等につきましては、市街地の小学校は今年度見送りということで、一応のかたちの実施ということで検討しているところでございます。計根別学園と中学校については、規模縮小で実施をするということで検討をしております。

学芸会、文化祭等につきましては、市街地の小学校は、発表会・音楽交流会などにかたちを変えて実施予定となっております。計根別学園と中学校は、規模縮小やかたちを変えて実施予定となっております。野菜収穫体験については、今年度見送りということで決めさせていただいております。生涯学

習振興バスにつきましても、今年度見送りということ、授業時数確保の観点で見送りをさせていただいております。

4点目の修学旅行についてでございますが、留意点として5点記載させていただいております。日程、行先、活動内容等を検討することだとか、先日オープンになりました「ウポポイ」を含め道内と行き先を決めまして、児童生徒が道内の歴史や文化について学びを深める機会とすることも検討していただきたいということでございます。

3点目の当然3密を避けたかたちということで、バス移動、食事や部屋割り等についても感染症対策の徹底を図るということで周知をさせていただきます。4点目、5点目につきましても児童生徒が安心して旅行に参加できるよう、保護者には事前に説明をして交流会を開くという準備もしていただく。最後の5点目はトラブル等で旅行が継続できなくなった場合等につきましても移動手段などの対応マニュアルを作成し、教職員間で共通理解を図るということで周知をしているところでございます。

3枚目の最初の各学校の日程等の予定としまして、6月15日時点でございますけれども、各学校の修学旅行の予定日、それから行き先について現段階の予定を記載させていただいております。農業高校なんかは、12月の沖縄、早い段階で今年度ハワイということで予定してございましたが、海外は難しいということで、切り替えを早くして沖縄の宿の確保をしている状況でございます。現段階で今の状況から沖縄の宿をとろうと思っても、なかなか取れない状況でございますが、まだコロナの感染も沖縄の米軍基地でクラスターが発生したという状況でございますので、情報を得ながら判断をしていかなければいけないことになろうかと思っております。

5番目の部活動についての考え方でございます。6月、7月、8月と1か月単位でステージの区切りをつけまして、もう既に終了しておりますけれども6月は部活動再開ということで、運動不足解消と体力向上を目的とした内容で実施をしていただきたい。7月以降につきましては、練習試合の実施を可能とする。この場合、生徒の健康状態や保護者の考え方、これらを確認しながら慎重に判断して行っていただきたい。8月以降に各種大会の開催や参加を良しとするということで、管内の校長会の中でも統一を図りまして、地域によって差が出ない活動にしていきたいと思いますという意思統一も図られている状況でございます。

4点目の丸、その他3年生の中体連等の活動につきましても、かなり制限されている中で、3年生の引退時期についても十分考慮して行っていきたいとしております。

また少年団活動につきましても、部活動の考え方に準じていただきたいと

ということで、少年団の本部からも同じように通知文書を各家庭に配布をさせていただいて実施をしている状況でございます。

6点目の計根別幼稚園満3歳児保育及び預かり保育時間延長の開始時期についてということで、コロナの影響もありまして、なかなかスタートが切れない状況でございますけれども、新に受け入れるということで予算化して職員の体制の準備もしておりまして、ようやく受け入れ準備ができつつありまして10月1日にスタートができるように募集、面接等行いながら実施していきたいというふうに考えておりますので、お知らせをさせていただきたいと思っております。

4ページにつきましては、前回の5月のときにも提出している新しい生活様式ということで、同じものがございますので改めて目をとおしていただければということで付けさせていただきますので改めて説明は省かせていただきます。

私からの説明は以上でございます。

○山田教育長

一回切りますか。ここまでで何か質問等ありますか。

○義盛委員

学校が再開してから2か月ないし1か月半ほど経ちましたけれども、その間トラブルとか気になる点とかはありませんでしたでしょうか。

○教育部長

まず、やはり部活動のところで怪我の無いようにということでスタートを切ったんですが、部活動だけではなくて、やはり体育の授業のときでもやや怪我の報告が目立ちました。そこは慎重にやりましょうということで、教育委員会が学校と連携してやってきたんですけれども、慎重を期してもなお、やはり2か月も自宅に居たというハンデの関係で、怪我が多かったのかなと感じております。

あと部活動の関係で目標が無くなりまして、なるべくモチベーションを保つのにどうしていったら良いかなということで、そこを考えたながら、期日を定めながら当分の間という言葉を使わないようにやってきたつもりなんですけれども、やはり合唱なんかにおいても目標を見失った子どもがなかなかちょっと学校に行きづらいとか、何か気力が無いというような話を聞いておりますのでコロナの影響は少なからず子ども達には出ているのかなという状況はありました。あと指導監のほうから何かありましたら。

○教育指導監

はい。学校訪問が始まっているんですけども、マスクをしている状況が長く続いているということで、子ども達の集中力、それからコミュニケーションが、表情が見えないというのがすごく不安な環境にあると思うんですよ。先生と子どもも授業で質問したり子どもの反応を読むときに、やはり表情から伝わってくる情報って大きいんですけども、マスクのおかげでそれが十分でなかったり、子どもの反応がどういう反応をしているのか、というのが授業を進めていく上で不便な部分があったり、それともう一つ大きなものは、子ども同士のコミュニケーションもマスクをとおしているなかで、やはり感情のキャッチボールがやりにくいという部分は否めないかなということで、そうした小さなトラブルがままあるというような情報もありました。

それともう一つは生活習慣が不規則になっていったのが数か月続いていたので、その習慣がなかなか元に戻りにくい子どもがいらっしゃるということ。この中にも授業中の集中力だとか我慢強い子だとか、情緒面、情意面での問題点とかも今までにないところなのかなと思っています。

ただその中で先生方や学校が今だからこそこできることとか、授業の工夫だとか改善とか、それから子ども達にどんな活動をさせていくことが良いのかということで工夫はしています。ただこの3密の状況の中では、やはり感覚だとか、声を出さない、抑える、それから運動もマスクをしている状況の中でできることといっても限られていますので、その辺りが今までと違う学習活動、教育活動を展開しなければならないという部分は数多くありました。

今後少しずつ緩和されて早くこれが終息していけばいいかなと思っているところです。

○山田教育長

今の指導監のお話を聞くと、マイナス面ばかりのように聞こえると思います。でも実は以外とびっくりした面もあって子どもの順応性が高いので、たんとんと授業にちゃんと集中してやっているという面もあるんですね。だから学校の中は思ったよりも落ち着いているというか、そんな感じありましたね。

○教育指導監

そうですね。感情があまり高ぶらないで済んでいるという部分あるんですけど、ちょっとしたことでもしかしたら読みにくい部分もひょっとしたらあるのかもしれないですね。

○山田教育長

いずれにしても現場の苦労はやっぱり多大なものがあるので、教育委員会としては精いっぱいサポートできればなというふうに考えています。

○義盛委員

僕自身、子ども達もさることながら先生方のヘルスケアがちょっと心配なところがありまして、デイリーで消毒作業をしなければいけなかったりですとか、今まで以上に煩瑣な仕事が増えたと思うんです。

それとともに子ども達の、先ほどおっしゃった表情が伺えないまま授業を進めなければいけない。若しくは他の活動を進めなければならないということに対する、結構ストレスフルな環境なのかなと思うのと、それとともに先生方当然マスクをしながら授業をされているわけですよね。マスクをしながら一コマ45分というのも結構大変なことかなと。僕自身、普段仕事でお勤めとかするときには、しんどいのでマスクを外してやっているんですけど、この間お話し、布教するとき80分間マスクして話したら、かなり息切れしてもう嫌だって思ったんですね。そういうのを先生方がその授業の度に思っておられると、いよいよフィジカルな部分もメンタルな部分も大丈夫かなと。特に新しい新任の先生方にそういうふうなことを思ったんですけども、先生方のほうは変わったことはなさそうでしたか。

○教育指導監

大きな部分ではないと思うんですけども、ただやっぱり今子ども達のためにやらしてあげたいことがやっぱりできないでいるというのは、大きなストレスですし、それからこういう集会をやって子ども達の連帯感だとか、一つの目標に向かう結束力だとかというのは、行事をとおして育ってきたという部分があるんですけど、それが一切できないのが、やっぱりもどかしさを感じているのかなと思いますし、あと教科によっても違うんですけども、その教科その教科によって、この活動をメインにしたいのにそういうものもできないでいる。何か別な方法を別な切り込み口でやるということに、かなり先生方も抑えなければならぬ部分があるのかなというふうに思っています。焦らないようにという今の段階では我慢するしかないんですけども、子どもも教師もそういうストレスはあると思います。

○山田教育長

具体的に言ってしまうと、広陵中学校なんかは3年生の合唱を1年生に見せれば、おおっとなるんですよ、やっぱり。3年生の立派な姿を見せると1

年生は喜ぶんですけれども、それをやらせてくれと言うが、それを駄目とこっちは言わなければいけないんですね。3密避けなければいけない。先生方の気持ちも学校の気持ちも良く分かるんです。分かるけどイエスと言えない、こっちは辛いところがある。やっぱり子ども達の安全、先生方の安全を考えるとちょっと今やるべきでない。だから思ったように子どもを育てられないというストレスは、そのことで現場は随分感じている。本来であればできて当たり前のことのできないので大変だと思う。

○義盛委員

でもこれも状況が変わり次第また、アップデートしていくわけですよ、こういう方針についても。軽くなることも当然ありますし増えればまたもつとやるかもしれませんけれども。そこら辺、それこそ教育委員会の皆さんのサポートというのはいよいよ大変だと思うんですけどもどうかよろしく願いします。

○山田教育長

続きまして生涯学習課担当事業についてです。

○生涯学習課長

はい。A4一枚ものの令和2年度の生涯学習課担当事業についてをご覧ください。これは6月末日で内容整理をしているものでございます。

上段が中止となった事業でございまして、かいつまんで申し上げますと、一番上6月に開催が予定されておりましたフットサルの全道大会、こちらが中止となっております。330 開陽台マラソンも中止、それから日体大との連携協定推進事業では、ラグビー部合宿、整列と行進の指導、日体フォーラムが中止となっております。

その下の段は、未定、または内容変更等のある事業に移りますが、上からいきますと生涯学習委員会、例えば5月はまだ開催できませんでしたので書面会議を行っております。生涯学習委員会から2つ下、令和3年中標津町成人式。今のところ1月7日に実施する予定ではいるんですが、感染状況にもよりますけれども、これまでどおりにはできなくなることが十分予想されます。これから内容の検討をしなければなりません。例えば、最悪の場合は中止もありえますし、リモートでの開催、またやるにしても椅子を1個なり2個空けて使うのかですね、そういったことを今後決めていきたいと思っております。

成人式から3つ下、スポーツ文化遠征費補助、こちらにつきましてはコロナ禍により大会中止が相次いでございまして、6月末現在では申請はゼロとい

うことになっております。

それから2つ下、日本体育大学連携協定推進事業、こちらについてもコロナの感染状況によるとは思いますが、9月に駅伝部、20から30名の合宿が今のところ予定されております。なお、明後日その監督が下見に来る予定になっております。

さらに2つ下、標津川9遺跡の発掘調査です。こちらについては、札幌学院大学との連携協定事業が時期的に実施できなかったということで補助金申請ができないということから、担当のほうで手掘りを行いまして、トータル12個の穴を掘って調査を行って今年は終了としました。

更にそこから4つ下、中標津町文化財保存活用地域計画作成事業、文化庁補助事業とありますが、文化庁の100%補助となる事業ですが、5月からリモート等にて各種打ち合わせや協議会を開催しております。今週18日には第2回目の協議会、8月8日にはフォーラムの開催を予定しているところで、コロナ禍の中で色々と調査内容を見直さなければならなかった部分もありますけれども、概ね順調に進められています。

一番下の地域おこし協力隊設置事業ですが、前年度に一度募集をかけました。ちょうどコロナの問題で応募者はいませんでした。ただ、募集期間外ですが、次の募集の際には教えてほしいという問い合わせが1件ありました。今年度の動きとしては、7月中からの募集を開始するにあたって準備を進めてきておりまして、来週、7月中には正式な募集をスタートする予定となっております。以上でございます。

○山田教育長

生涯学習課担当事業について何か意見はありますか。

○義盛委員

いいですか。成人式の件なんですけれども例年200名強、対象の方おられますよね。そのうち町外の方、果たしてだいたいどれぐらいの割合で帰って来られたりするのかわかりますか。

○生涯学習課長

だいたい例年でいきますと30人ぐらいです。

○義盛委員

30人ぐらいですか。

○生涯学習課長

基本的に町外も道外もオッケーということで今までやってきたんですけれども、だいたいそれが30から多くても40人。

○義盛委員

40人ですね。

○生涯学習課長

40人いないぐらいですね。

○義盛委員

極端な話、これからそれこそどうなるか分かりませんが、管内に限りは発生している状況はほとんどないこと考えたら、マネジメントそんなに難しいものでないんじゃないかというのを思うわけです。当然ディスタンスをとってということは必要だと思うんですけど。問題は町外から帰って来られる方のケアですよ。当然札幌は良いにしても、東京の方もおられるでしょうし、そういった方々も今のところは当然受けるんですよ、今までどおり。

○生涯学習課長

そうです、今までがそうでしたので。その辺も考えなければならぬ。

○義盛委員

やっぱり実施したいですね、させて差し上げたいです。ちょっとデリケートな問題を含んでいると思うので、すみませんが気をつけて、実施するにしても中止するにしても慎重にすみませんがよろしくお願いいたします。

○山田教育長

正直、マスクしたまま記念写真撮ったって意味ないし、集めてしまえば、会場内は私達がコントロールできるんです。問題は会場から出てからはコントロールが効かなくなりますから、皆集まってマスク外して写真撮って、その後着替えて飲み屋に直行ということになったら感染拡大を助長しているような部分もあるので、そこはすごく慎重にやらなければいけない。

○義盛委員

後は知らないよというわけにはいかない部分ですよ。

○山田教育長

いけないです、そこなんですよね。行政の姿勢が問われる部分でもある。いろいろな場面を想定しつつ検討していきたいと思います。

○義盛委員

記念写真なんかも何回かに分けてとかやらざるを得ないのかなと思います。マスクしたまま写真撮ったって何の意味がないようなね、それこそ表情が見えないということでしょうし。撮る瞬間だけマスク取っていただくようなかたちとかがベターなのかなと思いますけれども。

○生涯学習課長

写真撮るまで段に上がってもらって写真撮るまで30分かかるんですよ。

○義盛委員

そうですね。

○生涯学習課長

正に密なのでどうしたものかと。

○山田教育長

晴着着てマスクして歩くだけで辛いと思います、締め付けられるし。

○義盛委員

多分、そういうのもバランスだと思うので最初からやるとかやらないというよりは、事務局で検討いただければと思いますので、すみませんがよろしくお願いします。

○山田教育長

他いかがですか。よろしいですか。

(委員から「はい」の発言あり)

○山田教育長

あと事務局から何かありますか。なければ予定されていた会議日程は全て終了いたしました。本日は大変ご苦勞様でした。